

## 令和 7 年度第 18 回都市経営会議 令和 7 年（2025 年）12 月 17 日（水）開催

### I 令和 7 年度補正予算について

#### 【提 案】 企画経営部

※ 本件は、令和 7 年（2025 年）12 月 12 日開催の第 17 回都市経営会議に提案され一度承認を受けましたが、承認後に内容修正（\*）があったため、改めて提案されたものです。これに伴い、12 月 12 日提案の「令和 7 年度補正予算について」は廃案とします。

#### \* 修正内容

- (1) 令和 7 年（2025 年）12 月 16 日付けで物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の交付限度額の提示があり、補正予算の額を修正するもの。
- (2) 物価高対応くらし応援事業の内容を一部変更するもの。

#### 【結 果】 承認

#### 【質疑等】 なし

※ 参考：補正予算の概要（担当部説明他より）

- ・ 物価高対応くらし応援事業として、市民 1 人当たり 3,000 円相当の商品券を配布する点に変更はないが、加算内容を以下のとおり変更する。
  - ア 65 歳以上の高齢者 3,000 円を加算し、6,000 円相当の商品券を配布
  - イ 住民税非課税世帯 1,000 円を加算し、4,000 円相当の商品券を配布重複加算はなし。
- ・ 背景として、国から想定以上の交付金の交付があったことが挙げられる。加えて、子どもについては物価高対応子育て応援手当として、子ども 1 人当たり 2 万円が支給されるなど手厚い支援がある一方で、高齢者に関しては、例えばバス・タクシー運賃助成の見直しや、身体障害者手帳 4 級をお持ちの方に対する福祉医療費の助成の廃止などご負担をお掛けしている状況である。それらを勘案する中で、バス・タクシー運賃助成見直し等の直接的な代替にはならないが、65 歳以上に関しては、より手厚い加算を行うこととし、今回改めて提案するもの。